

「県税と私たちの生活」

私の父は、建設会社に勤めています。父の会社は、道路を作ったり、直したりするのが仕事です。その仕事には、たくさん苦労があります。

台風が来れば、風や雨による影響を心配し、テレビの天気予報や、インターネットの情報を食い入るように見て、二十四時間体制で災害に備えます。

冬季は、道路の凍結や積雪に対応します。道路が凍らないように、凍結防止剤をまいたり、除雪したりします。土日祝日関係なく、雲行き次第で出勤するのです。私が小学校にあがる前のことで

中学生の「税についての作文」表彰

「期待されている僕ら」

最近、ニュース等で度々耳にする「消費税が8%から10%に変わる」ということは、僕にとってはとても重大なことである。僕自身は当初、「これからは何を賣うのにも値段が高くなるじゃん」と思っていた。しかし、消費税について家族間で話しているとき、「税金があるから日本は暮らしやすいんだよ。」と父が言ったその一言で税金そのものについて興味が湧いた。

税金の種類が約五十種類もあることを知った時には図書館で声を上げそうな程、驚いた。しかし、税金についての本を読み進めると、『税金は国民が生涯安心し

した。ある年の秋、父は台風の影響により、会社で災害に備え待機していました。とても強い風と、激しい雨に道沿いの木が倒れ、道路を塞いでしまいました。たまたまつけるように降る雨の中、チェーンソーで倒れた木を切り刻み、細かくした木を片付け、自動車が通れるようにしたそうです。

また、ある年には、数十年に一度といわれる積雪に見舞われたことがありました。自動車は道路上で立ち往生し、何時間も動けない状態でした。そんな時にも父は雪が降り出す前に集合し、降り出したと同時に除雪に出動しました。絶え間なく降る雪は、除雪する後

からすぐに降り積もりました。結局父は三日間家に帰ってくるのができませんでした。

家族で遊びに行く予定が、何度も父の仕事で中止になったので、私は休みのたびに、台風が来なければいいな、雪が降らなければいいな、と思っていました。私は、父の仕事は災害が起こらなければ必要の無い仕事だと思っていたのです。

ところが、父がしている仕事は、私たちが当たり前の生活をして行くために、必要な仕事だとわかってきました。私たちは、道路が使えなければ不便に思っ腹を立ててしまいます。ところが、道路を

支障なく使えるのは、父のような存在が道路を維持してくれているからなのだと思ってきました。

父からは、その仕事は、県税が基になっていると聞きました。長野県に納めた税金が、災害時に役立つだけでなく、当たり前私たちが通る道を維持しているのだそうです。

私は驚いたのと同時に、私たちが普段どおりでいられるのは、県税のおかげだということ、父のような仕事をする人たちの頑張りを支えられているのだなと思ひ知らされました。今後は、通学路も少し違う気持ちで通れそうです。

て暮らすためにある。』と書いてあり、使い道はごたごたとうと疑問に思い更に調べていくことになった。二〇一一年の東日本大震災や二〇一七年の熊本地震や土砂災害などで大きな被害を受けた地域の早期復興などに税金が使われていることを知り、これこそ国民の安心を手助けすることだと思ふ。

警察や消防、自衛隊などの国民や社会の安全と秩序を守るためにも使われている事を知り、国民の税金が社会全体を支えていることを思うとすばらしいことだと感じる。

僕らが通う中学校も税金で支えてもらっていることはまったく知らなかった。教科書などは、税金

で買ってもらっていることは知っていたが、学校そのものに、税金を使ってくれていることは教科書の裏に書いてあるように「これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。』と僕らに「日本を担う」という言葉まで使ってくれていることは、僕は期待されているのだ。

「図書館や美術館などの公共施設の建設に、たくさん税金を使うのは、無駄である。」と言う友達も少なからずいたのだが、僕自身の考えとしては、知識やこれからの人生に役立つことを知る場所、学校と同じであると思っ

る。すなわち美術を学ぶ学校、沢山の本で知識を学べる学校ではないだろうか。このような人の役に立ち、人生に生かせる場所には国民全員の税金で、維持、運営をしていけばいいと思う。

『税金は国民が生涯安心して暮らすためにある。』僕らが、覚えていかなければならない言葉だと思ふ。これから日本を担っていく僕らが、税金についての理解をさらに深め学び、知ることができれば、僕らも、日本も更に発展していくと思ふ。『税金は嫌。』という気持ちも、「この税金で国民が幸せになる。」と変えることが一番の成長ではないか。

長野県
東信県税事務所長賞 受賞

新津 円さん
(小諸東中学校 3年)

小諸市長賞 受賞

古川 深人さん
(小諸東中学校 3年)

